

平成30年度の工業用水道事業関係補正予算（政府案）の概要

平成30年12月21日
経済産業省地域産業基盤整備課

高度経済成長期に整備された工業用水道施設は老朽化が進行しており、大規模災害時等による工業用水の給水停止を回避するため、施設の更新・耐震化が喫緊の課題となっています。

また、平成30年7月豪雨及び北海道胆振東部地震等により工業用水道施設が被害を踏まえ、施設の更新・耐震化に加え、電源喪失や浸水被害を防止するための施設、設備への更新等も新たな課題となっています。

経済産業省では、平成30年度1次補正予算として今回の被害に対する災害復旧費の確保を行ったことに加え、これらの課題に対し、対策を加速化させ、防災対応力強化を図るため、老朽化した工業用水道施設の更新・耐震化や電源喪失対策等を推進するため、平成30年度2次補正予算額として以下のとおり計上することとしました。

<平成30年度予算（政府案）>

（単位：百万円）

項 目	平成30年度 当初予算額	平成30年度 1次補正 予算額	平成30年度 2次補正 政府案
工業用水道事業費	1,947	1,035	1,500
水資源開発事業費 [国土交通省 計上分]	215	0	0
工業用水道事業における PPP／PFI促進事業費	120	0	0
合 計	2,282	1,035	1,500